SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版

発行日: 2015年 3月2日(月)



マグネシウムは実用金属としては一番軽く、しかも強度があるが加工が難しく、量産するには厄介な素材とされてきた。当社の研究開発は2002年から始まり、全社挙げての研究開発が実り、2007年に高速双ロール鋳造法(※)であるゴンダ・ツインロール・キャスティング・システム(GTRC)を開発。この技術を使ってプレス性がよく、強度もあり、表面処理性もよいことから様々な製品への展開が期待できるマグネシウム合金AZ61の量産化に成功している。

また、カルシウムを添加して難燃性を高めた「難燃性マグネシウム薄板」の生産を開始し、800度以上でも燃焼しないという特徴を生かし、建材への応用が本格化しつつある。まず、具体化しているのは壁と吊天井をつなぐエキスパンションジョイントで平成25年に国土交通省の不燃認定、翌年には

強度の圧縮試験に合格し、都内の小学校体育館への納入も2015年1月に行った。スタッフが日本マグネシウム協会、日本機械学会、日本塑性加工学会などの機関から賞を受賞するなどマグネシウムの研究開発を支える人材も順調に育っているという。

マグネシウム合金板の普及に向けた権田金属工業の挑戦はまだまだ続く。それはまさに「良品共栄」という経営理念の実現でもあるのだろう。是非とも相模原の地からマグネシウムで世界をリードするリーディングカンパニーが生まれることを願っている。

※高速双ロール鋳造技術とは溶融金属から金属薄板を直接鋳造する技術で、従来の薄板製造方法と比較して工程数を大幅に減らすことができる。特に権田金属工業が開発したGTRCは双ロール鋳造の高速化を実現し、生産コストを半減させた。

入居企業紹介

All Japanで世界を目指す!

共進電機株式会社



京都市下京区に本社を置く共進電機株式会社をご紹介します。SICに東京営業所/東京テクニカルセンターを設置した所長の岩本和孝さんにお話を伺いました。

同社は昭和23年に京都市内にて創業。創業当初は、モーターの巻線修理を行い、その後、白黒ブラウン管特性検査装置の開発を行いました。同社の技術の根幹には、高圧・高周波の電源の制御技術があり、現在もトンネル内の高圧制御装置や各種検査装置を手掛けています。

近年、新規事業として、新エネルギー 関連の事業を立ち上げ推進していま す。具体的には、太陽光パネルの発電特 性評価システムやセルセッターの開 発・販売を行っています。本製品は独立 行政法人産業技術総合研究所(AIST)と 共同開発した革新的 I-V計測技術 「KOPEL Method」を太陽電池高速度 検査システムに採用する事で高効率太 陽電池モジュールのI-V(※)の高精度測定が可能になっています。また、検査速度もシングルラインでタクトタイム1.5秒と非常に高速です。

SIC-2のセミラボでは、八王子市にある山下電装株式会社と共同で、この高効率太陽光セルを用いた太陽電池セル用モジュールの検査装置を設置し、デモと開発を行っています。

実際に国内、海外から見に来ていただき、太陽光検査装置の更なる普及に繋げたいと考え、暫くの間は、無料でこの検査装置を使っていただいています。開設して半年で、国内の太陽電池メーカーを初め、中国、台湾、韓国、インド、フランス、米国などから実験、デモに来社されています。

「2005年までは日本が世界一であった太陽光パネルの生産ですが、今や諸外国に押されているのは承知の通りです。本技術は今でも日本がNo.1だと確信しています。今後は、太陽光パネル



高効率(高容量)太陽電池モジュールを 50 ms のパルス照射で正確に計測できる高精度 I-V 検 査システム。タクトタイムは約 1.5 秒測定と、 驚異的な高スループットを実現しています。



【実験中】

左側 京都本社 営業グループ 営業2課 責任者 倉田健司さん 右側 京都本社 技術グループ 開発課 責任者 森島辰治さん、

の検査装置市場で日本が世界をリードし、「モノづくり日本」を蘇らせることが目標です。それには、当社のような中小企業1社で全てを成し遂げることは出来ません。他の同業社や研究機関との協業や関係強化を図りながらAII Japanで市場拡大を目指しています。」と岩本所長は話します。

共進電機株式会社

SIC-1 310号室 / SIC-2 406号室

URL: https://www.kyoshin-electric.co.jp/

「アジア経済事情と海外進出事例」



一ベトナム経済事情一

ベトナム統計総局によると、2013年の実質GDP成長率は5.4%で、政府が当初目標としていた5.5%をやや下回った。2012年(5.3%)に引き続き5%台の成長にとどまった。

2013年の成長率を産業別でみると、農林水産業が2.7% 増、工業・建設業が5.4%増、サービス業が6.6%増となった。

2013年の輸出(通関ベース)は1,321億3,500万ドル(前年比15.3%増)と堅調に増加した。品目別でみると電話機・同部品、縫製品、コンピューター電子製品・同部品の順であった。国・地域別でみると、1位は米国で続いて日本、中国となっている。

2013年の輸入は1,321億2,500万ドル(前年比16.1%増)であった。品目別でみると、機械設備・同部品、コンピューター電子製品・同部品、織布・生地の順で多い。国・地域別の輸入は、中国、韓国、日本、の順となっている。

2013年の日越貿易はベトナム側の輸出が136億5,100万ドル(前年比4.5%増)、輸入が116億1,200万ドル(0.1%増)で、貿易収支はベトナム側の20億3,900万ドル(39.9%増)の黒字となった。

外国投資庁(FIA)によれば、2013年の対内直接投資(新規・拡張)は、認可ベースで2,120件(前年比15.4%増)、223億5,200万ドル(36.7%増)となった。

新規投資は1,530件(18.9%増)、144億8,300万ドル

(68.1%増)となり、特に金額が大きく増加した。主な要因としては中国による石炭火力発電所建設案件(20億ドル超)や、韓国企業の新規大型投資(10億ドル超)案件などが大きく寄与している。国・地域別で新規投資をみると、金額1位は韓国で、2位はシンガポール、3位は中国、日本は4位となっている。

日本からの投資(認可ベース·新規)は、金額が大幅に減少したものの、件数は3年連続で過去最多を更新した。

一進出企業とJETRO支援サービス一

金型設計、製作・加工及びコンサルタント業務を行っているイイダモールド(本社:茨城県筑西市)は今後の業務拡大を進めるために、駐在員事務所の活動期間が終了するのを機に現地法人の設立を計画していた。

支援を担当したジェトロの専門家はメーカーに在籍中に現地法人の設立を 担当した経験を活かし、イイダモールドの現地法人設立にあたり、投資ライセンス申請を支援し、ベトナムの法制度情報について、アドバイス等を行った。

同社は2014年1月22日、ホーチミン市人民委員会より金型の設計業務で 投資証明書を取得し現地法人設立に至った。ジェトロの専門家は2014年2 月に同社飯田社長のベトナム出張に同行するなど経理、税務、労務面での支 援を行っている。同社のベトナム設計チームは本社で5年間研修した者が現 地社長を務め、構想設計・3Dモデリング・トレース作業の分業化を計り設計 工数の最適化を行い、設計費用のコストダウンを図っている。

ベトナムの主要経済統計(2013年)

人口(人)	8971万人
GDP	1,706億米ドル
一人当たりGDP	1,902米ドル
実質GDP成長率(%)	5.4
消費者物価上昇率(%)	6.6
失業率(%)	3.5
貿易収支(100万ドル)	10,600
経常収支(100万ドル)	11,100
為替レート対米ドル(1ドル=)ベトナム・ドン	21,036
外貨準備高(100万ドル、期末値)	28,500
対外債務残高(グロス)(100万ドル)	49,100
主要政策金利(%)	9.0

(出所)ジェトロ 海外情報ファイルJ-FILEおよびジェトロ世界貿易投資報告などから作成

ベトナム(ハノイ)の主な投資関連コスト(2013年) 米ドル 現地通貨(ドン)

	賃金	ワーカー(一般工職)月額基本給	155	3,254,000
		エンジニア(中堅技術者)月額基本給	355	7,459,000
		中間管理職(課長クラス)月額基本給	773	16,252,000
		社会保険負担率(事業主負担率)	社会保険18%、健康保険3% 失業保険1%、その他1%(労組費)	
	土地	工業団地(土地)購入価格(1㎡) ※ドンバン2工業団地(㎡)	0.13	米ドル建て
		事務所賃料(1㎡、月額) ※ロッテセンター(市内西部)	39~43 VAT(10%)及び管理費 (7ドル/㎡)含まず	米ドル建て
	エネルギー	業務用電気料金(1kWh) _{※製造業オフピーク}	0.04	792
		レギュラーガソリン(1ℓ)	1.15	24.210
	税	法人所得税	22%(最高税率)	
		付加価値税	0%、5%、10%(\ 税率は品目)	/AT)(標準税率) _{こより異なる}

(参考)ジェトロ「第24回アジア·オセアニア主要都市·地域の投資·関連コスト比較」より

第4回相模原ちょい呑みフェスティバル

各地で開催されている"ちょい呑みフェスティバル"の相模原版。SICスタッフが行ってきました。ちょい呑み券(3枚つづり)2,500円を購入し、34店舗中好きなお店3店をはしごするイベント。沖縄料理「ハイサイキッチン」、海鮮居酒屋「うまいもん亭」、居酒屋道場「三九」で、好きな飲み物1点と料理1品を選び、みんなでワイワイ楽しくはしご酒。

こんな機会に、気になるお店へ行ってみるのもいいですね。



←「ハイサイキッチン」 ・海ぶどうと魚介のカ ルパッチョ ・もずくと島らっきょう の沖縄てんぶら



企業同士の取引では、「契約書」が必要となります。 先方から「契約書」を提示され、「本当にこの契約書で大丈夫だろうか?」と不安になったことはありませんか?今回のセミナーでは「売買契約書」「共同開発契約書」「機密保持契約書」を例に、

○各契約書の図ポイント(どこを確認したら良いか等)

○実際に起こり得る企業事例(確認不備による失敗例等)

等を紹介し、今後の経営活動に活かしていただければと思います。

※終了後は、個別相談にも応じます。

日時:平成27年3月17日(火)17:30-19:00 場所:SIC-2 大会議室 参加費:無料 講師:弁護士法人高瀬総合法律事務所 代表 弁護士 高瀬芳明氏



第8回宇宙科学研究会

「中小企業と若い力が宇宙探査を変える『超小型深宇宙探査機 PROCYON』の通信システム」

大学生が深宇宙探査機を設計開発し、運用するという日本の新しい 宇宙探査の時代が到来しました。この野心的プロジェクトについてご紹介します。

講師:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教 冨木 淳史(とみきあつし)氏

日時: 平成27年3月25日(水) 18:00~20:00

場所:相模原市立産業会館 4 F 中研修室

定員:40名(先着順) 参加費無料

2015.3

SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

平成27年 3月17日(火) SICミニセミナー The HINT No.20【法務】

3月19日(木)第31回 南西フォーラム

3月25日(水)南西フォーラム分科会「第8回宇宙科学研究会」

3月26日(木)南西フォーラム分科会「ネイチャーイノベーション研究会」

knock/ knock/

入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (2015年3月2日 現在)

	部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1	現在空室はありません	-	-
SIC-2	オフィス (50.2㎡)	1	149,600円
SIC-3	現在空室はありません	-	-

南西フォーラム 31th FORUM



第31回南西フォーラム

首都圏南西地域と産業の未来の

今回は、リニア新幹線や相模総合補給廠の一部返還などの社会基盤整備が進む当地域の社会や産業の変化について考えるとともにPETプリフォーム製造装置で圧倒的なシェアを持つグローバル企業「ハスキー社」の世界戦略と日本法人(所在:町田市鶴間)の役割についてお話ししていただきます。

<基調講演> 首都圏南西地域の社会基盤整備と産業

講師:株式会社浜銀総合研究所 理事 八木正幸氏

<講演> ハスキーグループのグローバル戦略

講師:ハスキー株式会社 社長 澤井康治氏

<講演> 経済産業省の海外展開施策について

講師:関東経済産業局

日時: 平成27年3月19日(木)18:45~21:10 場所: ユニコムプラザさがみはら(セミナールーム1)

定員:80名(先着順)参加費無

南西フォーラム分科会

「ネイチャーイノベーション研究会」

地球の歴史とともに長い年月で進化してきた「自然のもの」、「生き物のもの」の優れた機能と安全性を活用して、環境と経済の両面から考える21世紀の革新的なものづくり、新しいビジネスをご紹介します。

講師:東京農業大学 農学部農学科(インセクトテクノロジー)

教授 農学博士 長島孝行氏

日時: 平成27年3月26日(木)18:45~20:45 場所: ユニコムプラザさがみはら セミナールーム

定員:60名(先着順) 参加費無料

アンケート結果や参加者の声を掲載しています。 詳しくは、SICホームページをご覧ください。

http://www.sic-sagamihara.jp

編集後記

相模原では、2008年11月の地域向けかわらばんの創刊から7回目の河津桜が咲き始めました。今年も別れと出会いの季節がやってきました。SICでは、27年度に向けて出会いの準備を始めています。多くの方々とお会い出来る事を楽しみにしています。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を お待ちしています。

ウェブサイト http://www.sic-sagamihara.jp/